

梅雨時期の露地栽培でも品質が安定しています!

みすい

美翠 コマツナ

【埼玉県川越市の地域概況】

埼玉県川越市は、都心から30km圏内という恵まれた地理的条件から、首都圏の食料供給基地として農業が盛んです。その中でも、ハウレンソウ、コマツナを中心とした葉物野菜の栽培が盛んで、コマツナは78ha(平成20年度)と県内有数の産地となっています。

川越地区のコマツナ栽培の課題

夏～冬にかけての露地栽培が主体ですが、5月中旬～8月中旬にかけては梅雨を挟んで気象条件が厳しいため、この時期に使う品種がなかなか定まらずにいました。当地の作付体系に合う品種の選定が課題となっていました。

この時期に求められる品種特性

- ① 梅雨時期の多湿・弱日照条件でも株が張り収量があがること
- ② 色抜けが遅く、店持ちすること(極濃緑の葉色)
- ③ 生育スピードが早過ぎずじっくりと生育すること
- ④ 白さび病に強いこと



葉色が濃く、市場性の高い「美翠」

圃場の様子〔撮影日:7月16日〕
6月21日蒔き、防虫ネット被覆

「美翠」を栽培した生産者からの評価

「梅雨時期でも株が張り、葉色が濃いので店持ちにも問題がなく、白さび病の発生割合も他社品種と比べて極めて低かった」と高い評価を頂いております。また、「以前使っていた品種よりも生育がじっくりしていて株張りを確保することができる」との声も頂いております。周辺の生産者から、「美翠」への問い合わせが増えているとのコメントもありました。

この夏、皆様の産地でもぜひ導入して下さい!